

CASBEE-建築(新築)2014年版
イーテック物流(新築)工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						
Q1-1 環境品質			0.31			2.5
1 音環境		2.6	0.15		-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-		-	
1.3 吸音		1.0	0.20		-	
2 温熱環境		2.3	0.35		-	2.3
2.1 室温制御		2.6	0.50		-	
1 室温		3.0	0.38		-	
2 外皮性能		3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		2.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20		-	
2.3 空調方式		2.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-	
1 昼光率		3.0	0.60		-	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-	
1 昼光制御		3.0	1.00		-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御		3.0	0.25		-	
4 空気環境		2.6	0.25		-	2.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-	
2 生物汚染物質			-		-	
4.2 換気		2.3	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-	
4.3 運用管理		2.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-	
Q2 快適・ビジネス性						
1 機能性		2.9	0.30		-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40		-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		4.0	0.33		-	
3 内装計画		1.0	0.33		-	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
3 維持管理業務			-		-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	

2.4 信頼性		2.6	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性		3.0	0.30			3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.30			
1 階高のゆとり		-	-	3.0		
2 空間の形状・自由さ		3.0	1.00	3.0		
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0		
3.3 設備の更新性		3.0	0.40			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 緑化環境(敷地内)			0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性						3.3
LR1 省エネルギー			0.20			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.02			3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化	BEI _m 非住宅-1.60 住宅(専有部) 0.82	4.0	0.61			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI _m 値が0.90以下である	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)						
4 効率的運用		2.5	0.24			2.5
集合住宅以外の評価		2.5	1.00			
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		2.0	0.50			
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング		3.0				
4.2 運用管理体制		3.0				
LR2 資源の節約			0.80			3.0
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1 節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60			3.0
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	エコマークを取得したビニル床材、事務室床面	3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材	京都府産木材を使用	4.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1 消火剤		-	-			
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3 冷媒		3.0	0.50			
LR3 緑地の確保			0.50			3.5
1 地球温暖化への配慮	太陽光パネルの設置	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1 騒音		3.0	0.33			
2 振動		3.0	0.33			
3 悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制		-	-			
3 日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		3.0	0.20			
1 風向き及び室内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			